



# 群峰

札幌市立西岡北中学校 学校だより

第6号

令和5年12月25日 発行

〒062-0033 豊平区西岡3条8丁目1-1

TEL.853-2422 FAX853-0396

<https://www.nishiokakita-j.sapporo-c.ed.jp>

## 「西岡のバトン」

校長 喜多山 篤

日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かなご協力をいただき感謝申し上げます。

もうすぐ1年が終わろうとしています、今年は本校校区にあります西岡小学校の開校 120 周年の年で10月には記念行事にご招待いただき、お祝いをしてきました。小学生のエネルギッシュな歌やパフォーマンス、地域の皆さんの暖かな眼差しやお話にとても素敵な地域だなと感動しました。

このような記念すべき節目の年にあたり、120年前の西岡地区の方々の生活や暮らしを知ることから、当時の西岡の人々の願いや希望を想像してみたいと思います。本校校長室にあります「西岡百年史」を紐解きますと、今から120年以上前の明治30年(1897年)ころの西岡地区(当時「焼山」)の子どもたちは、遠くの月寒小学校まで通わなければ学校がなく、その分校を西岡地区に設置する動きが住民から起こり、現在の西岡小学校の前身にあたる私塾が開設されたとあります。そうとはいっても、開塾を始めたばかりの入植者たちの生活は農業が中心で大変な苦勞と困難の連続だったことから、西岡の地を去る人も多かったとあります。それから4~50年ほどたった昭和20年(1945年)ころの子どもの様子が記録に残っています。

小学校に入る前後から、子ども達は家の仕事をよく手伝った。「子どもだって手伝わなきゃ、やっていけなかったよ」という言葉からは、子どもも含めて一家ぐるみで生活を支えていたことがわかる。西岡に電気がついたのは昭和20年、それまではランプの生活だった。小さな手をしている子ども達の大切な仕事は、ランプの「ほや」みがきだった。中、高学年になると登校前、帰宅後、男の子は水汲み、水運び、薪運び等の力仕事や草とり等の田畑の仕事、女の子は炊事、洗濯、掃除等の家事の手伝、草とり等の田畑の仕事、そして子守も大切な仕事の一つだった。学校から帰ってからの子守はもちろんのこと、大正、昭和の初期には弟妹をおぶったり、手を引いて学校に連れていき、お守りしながら勉強することもめずらしいことではなかったという。(西岡百年史より)

当時の子ども達は、家事や農作業の手伝いだけでなく、弟や妹の面倒を見ながら生活に必要な知識や経験を積み、学校での勉強をしていたことがわかります。それでも、親御さんたちは、子ども達が健やかに幸せになってくれるよう心から願っていたのだと思います。また、西岡が少しでも住みよい街になるよう街のためにお力を尽くされた方がたくさんいらっしゃったことも記録に残っています。

明日から冬休みが始まるのと同時に、世の中は年越し、お正月を迎えます。当時の暮らしに思いを巡らせつつ、感謝の気持ちをもって穏やかに過ごしてほしいと思います。昔も今も健康でありたい、幸せになってほしい、住みよい街にしたいという住民の皆さんの願いや希望は変わらないと思います。100年先の西岡がどうなっているのか想像もつきませんが、本校の子ども達は、西岡のバトンをしっかりと受け継ぎ、新しい年もそれぞれのペースで走り続けてくれると信じています。保護者・地域の皆様の沿道からの応援をよろしく願いいたします。

## 部活動結果報告・表彰 <秋～冬>

- ・男子バレーボール部 中体連新人戦 全市ベスト8
- ・男子バスケットボール部 中体連新人戦 全市ベスト16
- ・女子バスケットボール部 中体連新人戦 全市ベスト16
- ・サッカー部 中体連新人戦 1回戦敗退
- ・陸上部 中体連新人戦 山田莉(1年) 800m 5位入賞  
女子4×100mリレー 6位入賞  
(青木、木下、江上、佐藤)
- ・軟式野球部 中体連新人戦 3回戦敗退
- ・ソフトテニス部 中体連新人戦(団体) 1回戦敗退
- ・バドミントン部 中体連新人戦 高橋(2年) 3回戦敗退
- ・剣道部 中体連新人戦 船水(2年) 2回戦敗退 八田(2年)、坂口(2年)、丸山(1年) 1回戦敗退
- ・美術部 図書局コラボキャンペーン企画 西岡まちの灯り看板作成・展示(1/28)
- ・科学部 中文連私たちの科学研究発表会 5テーマ発表 ・英語部 札幌国際大学留学生との交流会
- ・吹奏楽部 アンサンブルコンテスト出場(1/6) 個人コンテスト出場(1/7)

席書大会  
秀作 5名



## 冬休み中の諸連絡

### 冬休みが始まります

先日は、期末懇談への御参加ありがとうございました。学習習慣や生活習慣の改善点などは長期休みを利用してぜひ克服し、来学期に良いスタートを切ってほしいものです。

さて、12月26日から冬休みが始まります。冬休みの生活についての注意やお願い事項は先日配付いたしました「冬季休業中の生活の心得とお願い」に掲載されていますので御確認ください。なお、冬休み中に何かございましたら学校にお電話ください。(ただし、12月29日～1月3日までは学校閉鎖日、また、1月4日は冬季休校日となっています。御理解と御協力をお願いいたします。)

### 冬型事故・ネットトラブルについて

本格的な冬になり、冬期間特有の事故が心配されます。例えば、雪山の陰で見通しが悪く車と接触する、スリップした車と接触する、屋根からの落雪、落氷に巻き込まれるなどの事故が例年起こっています。また、ネットトラブルについても心配されます。ネットに書き込んだ情報は取り消すことができません。不適切な書き込み、個人情報や画像の投稿によるトラブルが発生しています。このようなトラブルは、解決が困難な場合も数多くあります。学校でも指導いたしますが、御家庭の方でも注意喚起をしていただけると幸いです。

### 3学期の連絡

- ・12日(金) 3年生一部生徒登校(公立高校願書提出)
- ・15日(月) 始業式  
3年学年末テスト(国英)  
1,2年生T&P(9教科)
- ・16日(火) 3年学年末テスト(数社理)  
3年生給食後、下校  
エコライフレポートの取組(~17日)
- ・19日(金) 委員会・局会
- ・22日(月) 全協
- ・29日(月) ~ 小6年生 中学校見学(午後)